

SHINAGAWA

議会報告

～品川区議会公明党～

[品川区議会公明党会派報告]

●発行：品川区議会公明党 幹事長：若林ひろき

●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366 URL <http://www.shinagawa-gikaikomei.org>

品川区の「今」をお伝えします!

2017年度

no.1

平成29年度

品川区予算の主な項目

～区議会公明党の要望が反映～



子育て

■待機児解消

待機児童解消のため保育定員を過去最大の1044人拡大します。

■私立保育園の保育士等の処遇改善

保育士等の賃金改善と家賃補助の対象を全職員に拡大し、保育人材と質の向上を確保します。(予算9億5424万9000円)

■認可外保育施設の保育料助成

認可外保育所利用者へ月額で0歳児5万円、1歳児4万5千円、2～5歳児4万円の保育料を助成します。(予算1億513万2000円)

■オアシスルームを増設

オアシスルームを2カ所新規開設します。平成29年4月に12名、平成31年4月に12名の定員拡大し、在宅子育て家庭の利用者増加に対応します。

■子ども食堂開設

子ども食堂の開設とネットワーク構築の支援でフードバンク構築や子どもの居場所づくりを推進します。

■児童相談所の移管

児童虐待防止ネットワークを強化するため、品川児童相談所を都から区へ移管する準備を進めます。

障がい児・者

■区立障害児者総合支援施設

区立品川児童学園を改築し、障害福祉施設の中核拠点としての機能を整備します。平成31年度4月開設に向けて、本年度から本体工事を開始します。(予算11億3510万円)

■「にじのひろば」の負担軽減

障がいのある子を預かる障害者日中一時支援事業「にじのひろば」の月額利用料に上限額を設けて、障がい児のいる就労家庭の負担を軽減します。(負担上限月額：所得区分により0円、4600円、3万7200円)

■アール・ブリュット展

品川区民芸術祭と連携してアール・ブリュット展を開催し、障がい者の芸術作品を通じて障がい者理解を深めます。



(左)岡本俊雄氏展示作品 (右)澤田真一氏展示作品 (2016年アール・ブリュット展in天洲)

防災

■がけ・擁壁の改修

地域の防災性向上のため、崖・擁壁の所有者へ安全化アドバイザー派遣と改修工事費を助成します。(予算3078万4000円)

■感震ブレーカーの普及拡充

電気に起因する火災を抑制するため、感震ブレーカー設置助成を110件から210件に拡大し、木造共同住宅も対象とします。(予算1178万2000円)

■防災資器材の整備

地域防災力の強化のため「街かど消火栓」など各地域が独自で整備する防災資器材の費用を助成します。(1団体5万円)



街かど消火ハリアー

健康・福祉

■介護施設の整備

【5月開設】東五反田グループホーム(定員18人)

大井3丁目ゆうゆうプラザ(高齢者を主とした多世代の憩いの場)

【6月開設】上大崎特別養護老人ホーム(定員102人、ショートステイ定員39人)

■支え愛・ほっとステーション全地区展開

高齢者の生活支援窓口としての「支え愛・ほっとステーション」を新たに5地区で開設し、区内の全13地域でサービス展開します。

■成人歯科健診の年齢拡大

成人歯科健康診査について、対象年齢を20～70歳までの5歳刻みに拡大し、歯周疾患の早期発見・治療を図ります。

まちづくり・にぎわい

■やさしいまちづくり整備助成

JR京浜東北線大井町駅にホーム柵・エレベーター、東急大井町線荏原町駅にホーム柵などを整備します。(予算1億7473万円)

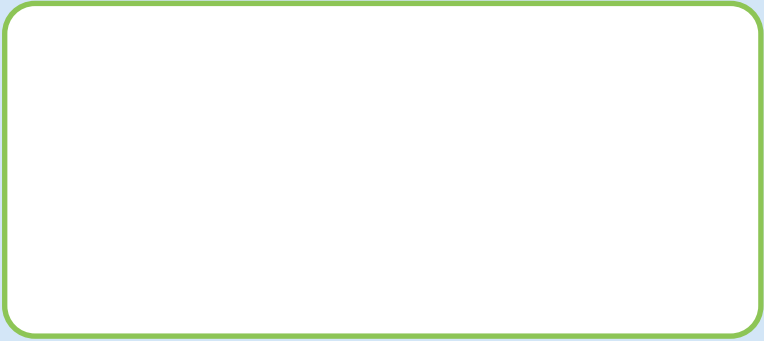
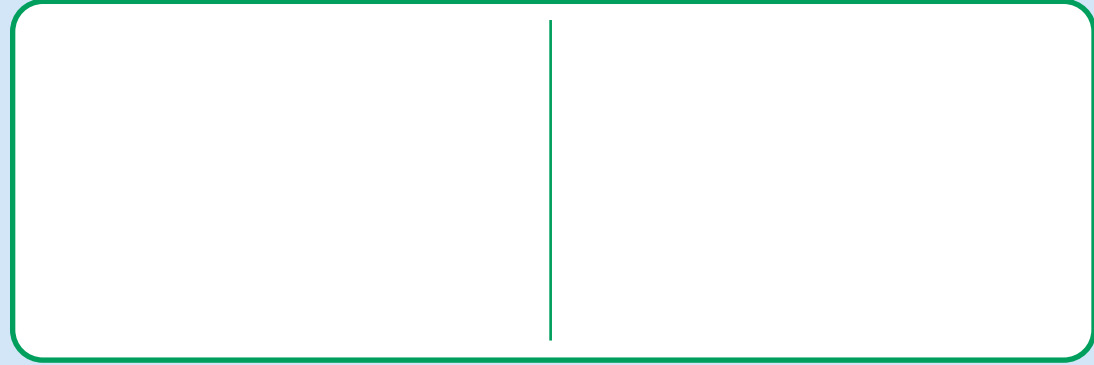
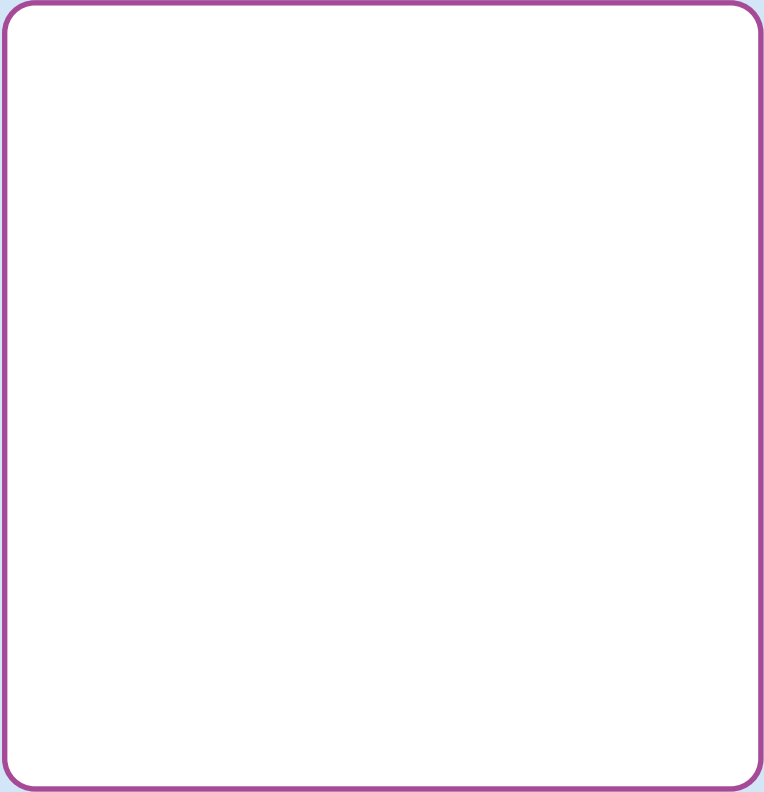
■品川の魅力をアピール

若者の出会いの場づくりや若者が楽しめるイベントを開催し、しながわの魅力を実感してもらう機会を創出します。

■都市型観光プラン推進

水辺を活用した都市型観光を推進するイベント開催で水辺のにぎわいを創出など、観光事業を展開します。





ホースセラピー体験会12月1日

びわ湖大津プリンスホテルで開催されたアメニティフォーラム21を視察しました。今年で21回目になる当フォーラムは、毎年、障がい者福祉の関係者が多数集い、充実したプログラムが展開されています。今回は、エマニュエル・トッド氏に学ぶ“人口減少社会”と、昨年、相模原市で起きた障がい者に対する凄惨な事件を受けて、“今あらためて共生社会を”とのテーマを基調に展開され、アール・ブリュットに代表される障がい者理解の輪を広げゆくフォーラムでした。

乗馬が麻痺に伴う神経障がいにも有効であり、自閉症など発達障がいを持つ人の学習能力の向上に役立つことから、欧米では保険適用がされている「ホースセラピー」の視察に伊豆大島のブルーヘイズ農場を訪れました。同農場では、知的障がい者施設と連携したセラピーを月3回実施しており、その効果について利用者や施設の方から話を伺いました。区内にある大井競馬場での「馬とのふれあい事業」に区も連携し、障がい者の機能回復の仕組みを目指していきます。

昭和三十九年創業の商店街視察11月19日

視察のメインは、かつての活気を蘇らせようと平成13年に立ち上げた「昭和の町」。当初7店舗からスタートした昭和の町認定店は現在40店舗ほどになり、いまでは年間約40万人もの来訪者を迎える商店街に変わっています。他に「恋叶ロード」（恋が叶う道の意味）と銘打つ観光スポットや小型電気自動車の無料貸出し、県外からの移住定住促進のための空き家バンク制

公明党の区議会議員



若林 ひろき



たけうち 忍



浅野 ひろゆき



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org